

次の書籍に訂正がございますので、下記をご参照ください。みなさまにはご迷惑をおかけいたしますこととお詫び申し上げます。

- 書名 『プラグマティック化学』
- 対象となる版 2017年3月20日発行 初版第1刷
- 訂正の内容

箇所		誤	正
p.55	下から4行目	～二酸化炭素が逃げてして溶質のみが～	～二酸化炭素が逃げて溶質のみが～
p.140	下から2行目	～滴下した過マンガンカリウムの物質質量～	～滴下した過マンガン酸カリウムの物質質量～
p.145	上の右図中の SO_4^{2-} の矢印の向き		
p.157	左図 ナトリウムアマルガムの生成の図中の Cl^+	<p>水銀陰極による食塩水の電解 ナトリウムアマルガムの生成</p>	<p>水銀陰極による食塩水の電解 ナトリウムアマルガムの生成</p>
p.184	図中の文字 2箇所	水晶体(固体)	水晶体(固体)
p.212	解答 k.	$\frac{1}{2} \{2(A + B) + 3C\}$	$\frac{1}{2} - \{2(A + B) + 3C\}$
p.294	上の図中のD 4箇所		

次の書籍に訂正がございますので、下記をご参照ください。みなさまにはご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

- 書名 『プラグマティック化学』
- 対象となる版 2017年3月20日発行 初版第1刷
- 訂正の内容 2017年6月～8月

箇所		誤	正
p27	下から1つ目の図 左から2つ目		
p60	上から3行目の式	$= \frac{n_B}{n_A + n_B}$	$= k \frac{n_B}{n_A + n_B}$
p66	下から3行目	～バリテリアが繁殖～	～バクテリアが繁殖～
p91	上から16行目の式	$\therefore K = \frac{[HI]^2}{[H^2][I^2]} \sim$	$\therefore K = \frac{[HI]^2}{[H_2][I_2]} \sim$
p118	1行目	～reverse titration とあり～	～reverse titration とあり～
p199	下から5行目	着陸時の高音で～	着陸時の高温で～
p371	上から5行目	～は女性ホルモンから～	～は細胞膜のグリセロリン脂質から～
	図の左端		
p391	下から2行目	～大きく、2,3個	～大きく、8～12個
p392	上から2行目	～ α -グルコースを～	～ β -グルコースを～